



11月は児童虐待防止推進月間です 平成26年度 全国共通標語「ためらわず 知らせてつなぐ 命の輪」

厚生労働省では毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施しています。市では、児童虐待防止のシンボルである「オレンジリボン」を使った取り組みを行います。

■オレンジリボンツリー展示

とき 11月1日(出)〜30日(回) **ところ** 市役所 こども未来館ここにこ(松葉町三丁目) **内容** オレンジリボンツリーに飾り付け、展示します

■オレンジリボン街頭啓発活動

とき 11月4日(火)午前7時45分〜8時30分 **ところ** 豊橋駅東口 **内容** ポケットティッシュの配布による啓発活動

■オレンジリボンデー(11月15日(土))のイベント

〈子育て支援団体のブース出展〉

時間 午前10時〜午後3時 **ところ** こども未来館ここにこ

〈ダンボールツリーの制作〉

時間 午前10時〜午後3時 **ところ** こども未来館ここにこ、交通児童館(向山町字池下)

〈オレンジリボンメッセージの作成〉

時間 午前10時30分〜11時30分 **ところ** 豊橋商工会議所大ホール(花田町字石塚) **テーマ** 児童虐待防止対談会

講師 柳美里さん(芥川賞作家、長谷川博一さん(臨床心理士) **定員** 250人(申込順) **参加料** 無料 **その他** 6か月以上の未就学児に託児あり(定員20人。1人200円必要。事前に電話でお申し込みください) **申し込み** 子育て支援課で配布のチラシに必要事項を記入し、ファックスで子育て支援課(☎56・5133)※電話申し込みも可(☎51・2327)

〈児童支援ミュージシャン集団「MUSICAN」によるコンサート〉

時間 午前11時〜11時30分 午後2時〜2時30分 **ところ** こども未来館ここにこ **出演** カラフルパレット、むーみん

〈児童虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは…〉

すみやかに東三河児童・障害者相談センター(八町通五丁目 愛知県東三河総合庁舎内 ☎54・6465)や市役所子育て支援課(東館2階 ☎51・2327)へ連絡する義務があります(下記参照)。

児童虐待の相談窓口

もし虐待ではなかったとしても責任を問われることはなく、連絡した方の身元を明かすことはありませんので、安心ください。

市役所子育て支援課(東館2階 ☎51・2327)・家庭児童相談室(東館2階 ☎54・7830)、東三河児童・障害者相談センター(八町通五丁目 愛知県東三河総合庁舎内 ☎54・6465)、児童相談所全国共通ダイヤル(☎0570・064・000)

児童虐待の防止等に関する法律(第6条)
児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは児童相談所に通告しなければならない。

問い合わせ

子育て支援課
(☎51・2327)



「オレンジリボン」には、児童虐待のない社会を実現するという願いが込められています。



柳美里さん



長谷川博一さん

わくわく活動ひろば

フォレストヒル ウーマンズ コミュニティ

私たちは、核家族が進んでいる現代社会で、子育て世代の母親たちの「子育てブルー」と言われる心理不安や悩みを解消し、明るく健全な地域社会にしたいという思いから設立した団体です。そのためには同世代の同じ悩みを持った母親たちが参加できるコミュニティが必要だと考え、2か月に1回程度でどなたでも参加しやすい「モノづくり講座」を開催し、「コミュニケーションの場を提供しています。昨年度はクラフト講座や料理教室などを実施しました。作業工程での協力を通じ、親子・親同士・家庭環境支援士と親子が、それぞれコミュニケーションを取り情報交換することで、子育ての不安や悩みを解消するサポートを行いました。今後開催予定の教室など詳しくは、ホームページをご覧ください。みなさんの参加をお待ちしています。

問い合わせ フォレストヒル ウーマンズ コミュニティ 森岡 (☎) 35・7755 <http://forest-hill.jp/> (sp)



7月に開催した料理教室(パン)のようす

トヨッキー基金への寄附は、随時受け付けています。この基金への寄附は税金の優遇措置があります。詳しくは市民協働推進課 (☎) 51・2483 <http://www.city.toyohashi.lg.jp/5230.htm>

寄附累計
6,241,827円(平成19年度から)
418,264円(平成26年度受入分)

再発見!丸山薫

手

私の手は
なんと美しいのだろう
伸び伸びと
活き活きと
どんなにはげしい仕事にも 運命にも
よごれず いじげず
私をたすけて 働いてくれる

私は両手をそろえて

お日さまの方へ向けてかざすと
淡紅色の血が朝陽のように
指をのぼってゆくのが見える
また 手を盥にひたす
すると 澄んだ水の中で
十の爪が花のようにひらく



新編 丸山薫全集(二巻)

※「手」が収録されている一巻は、
豊橋市中央図書館で貸し出し
してごめ。

詩人丸山薫の没後40年を記念して、
薫の作品を毎月紹介していきます

「手」について(詩の解説)

「手」。なんの不思議も無く日常生活の中で使っている手。その手が自分の生活や自分の精神を、しっかりと支えてくれていることに、詩人ははっと気がついたのです。

第一連では、その「手」に対する感謝の思いを、率直に表現しています。「どんなにはげしい仕事にも 運命にもよごれず いじげず」ところは、「どんなにはげしい仕事にもよごれず、どんなにはげしい運命にもくじけず」と読むと分かりやすくなります。

第二連では、漫画「アンパンマン」で有名な、やなせたかしさんの「手のひらを太陽に」という歌を思い出しました。「ぼくらはみんな生きている 生きているから歌うんだ 手のひらを太陽にすかしてみれば まっかに流れるほくの血潮」という歌です。詩人は「淡紅色の血が朝陽のように指をのぼって」、「澄んだ水の中で十の爪が花のようにひらく」とその美しさを改めてたたえています。この詩も声に出して読んでみましょう。

解説 飛高隆夫さん(大妻女子大学
名誉教授・丸山薫賞運営委員会委員長)
問い合わせ 文化課 (☎) 51・2874

豊橋市内の平成26年8月の交通事故(人身)

[]は平成25年8月、()は平成26年の合計

- 件数 233件 [276件] (2,037件)
- 死者 4人 [0人] (13人)
- 傷者 301人 [341人] (2,570人)

※夜間はスピードを落とすなど十分注意して運転しましょう

豊橋市の人口と世帯

(平成26年9月1日現在)

- 人口 379,007人(前月比3人増)
[男190,074人/女188,933人]
- 世帯 151,431世帯(前月比10世帯増)

※このうち外国人は13,710人/6,701世帯

今月の納税

市県民税 第3期分
国民健康保険税 第4期分
納期限 10月31日(金)

早めにお近くの金融機関、ゆうちょ銀行・郵便局またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のからない口座振替の制度が便利です。

問い合わせ: 納税課 (☎) 51・2235